

東京証券取引所 スタンダード市場

証券コード：6405

個人投資家様向け 会社説明会資料

2025年11月26日



SUZUMO

鈴茂器工株式会社

目 次

1. 鈴茂器工とは	----- P.3 ~ P.10
2. 業績の状況と今後の展望	----- P.11 ~ P.25
3. 株主還元	----- P.26 ~ P.28

鈴茂器工とは

数字で見るスズモグループ

世界初

1981年

初めて寿司ロボットを開発・販売

販売機種数

累計221機種

(1981年以降、資材・
消耗品含まず)

特許取得数

累計245件

(2024年10月現在、登録後消滅した
ものも含む)

売上高

155億円

(2025年3月期)

創業

1961年創業

創業65年

(2025年2月時点)

年間販売台数

10,000台以上

(2023年度)

販売実績国数

90か国以上

(2025年2月時点)

世界シェア

すしロボット
部門ご飯盛付け
ロボット部門※出典：富士経済「2025年版 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望 サービスロボット編」寿司ロボ
ット・米飯盛り付けロボット 販売数量・金額2024年実績

年間取引社数

11,541社

(2023年度)

SUZUMOグループのあゆみ

沿革

1961年 製菓機械メーカーとして鈴茂器工株式会社 設立
 1963年 最中 餡充填機
 1976年 求肥餅 餡充填機
 1977年 水たね高級デザート菓子 自動製造機

1977年 寿司ロボットの開発に着手
 1981年 米飯機械メーカーへ事業転換
 寿司ロボット初号機

1983年 おむすびロボット
 のり巻きロボット
 1987年 ライスバーガー製造ライン
 包装寿司ロボット
 1988年 いなり寿司ロボット
 1990年 酢合わせ機

1999年 お櫃型寿司ロボット

2003年 ご飯盛付けロボット (Fuwarica)
 2006年 連続のり巻き成形機

2012年 シートおむすび計量成形包装ライン
 2024年 コンパクトシャリ玉ロボット (S-Cube)

回転寿司の発展と寿司の大衆化



寿司ロボット1号機
江戸前寿司自動握り機
(1981年)



最新型 寿司ロボット
SSN-JLA/JRA
(現行機)

米飯ファストフードの発展と大衆化



ご飯盛付けロボット
(2003年)



ご飯盛付けロボット
Fuwarica
(現行機)

社会背景

1958年 日本初の回転寿司「廻る元禄寿司」OPEN

1970年 日本万国博覧会 (大阪)
 ファミリーレストラン1号店OPEN

1970年～ 減反政策
 1971年 日本マクドナルド1号店OPEN
 1974年 セブンイレブン1号店OPEN

1977年 くら寿司1号店OPEN
 1979年 かっぱ寿司1号店OPEN

1984年 スシロー1号店OPEN
 1987年 モスライスバーガー誕生

1992年 ファミレス初のドリンクバー導入

2001年 吉野家 牛丼チェーン初の1000店舗
 2013年 和食がユネスコ無形文化遺産に登録
 2016年 訪日外国人観光客2000万人突破
 2020年 新型コロナウィルス感染拡大
 2025年 大阪・関西万国博覧会



1970
年代

1980
年代

1990
年代

2000
年代

スズモグループの特色

BtoBtoC

日本国民の食を
支える身近な会社

営業

豊富な情報と
事業者ネットワーク

グローバル

日本的米飯食の
真のグローバル化を
目指す会社



サービス

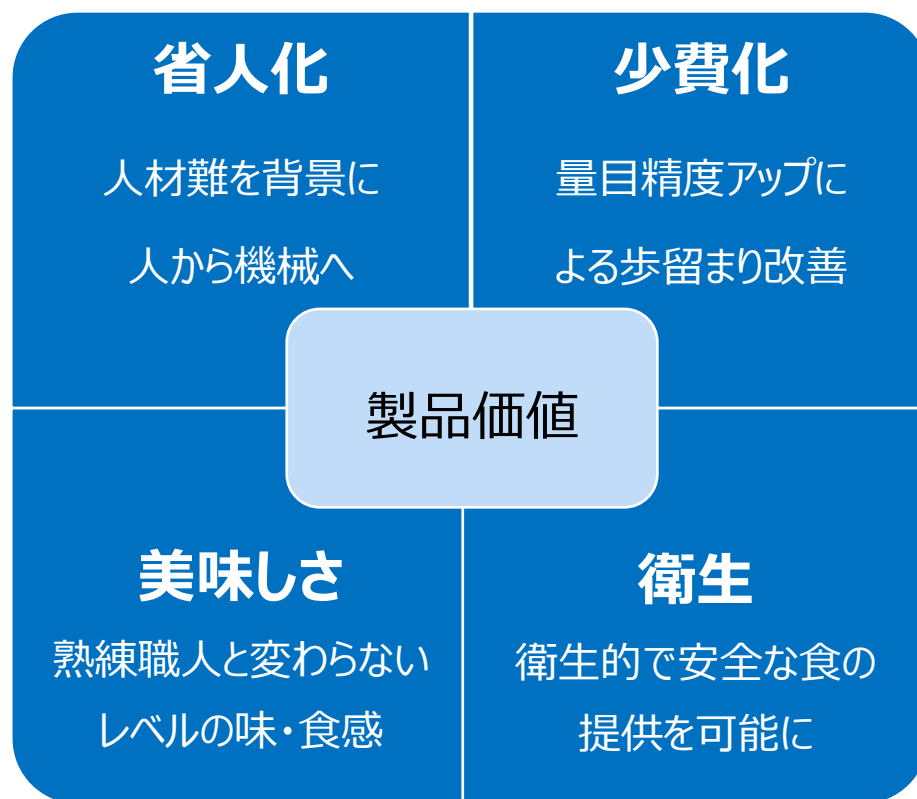
迅速なメンテナンス
サポート

開発・製造

世にないものを
創り出す力

スズモ製品の本質的価値

ユーザーに支持される当社製品の価値
省人化＋少費化＋美味しさ＋衛生



SUZUMOグループの事業ポートフォリオ

【Group Vision】 食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ

連結売上高 15,568百万円

※ 2025年3月期実績

海外 31.9%

国内 68.1%

SIC
(アメリカ)

SSC
(シンガポール)

SUZUMO
鈴茂器工株式会社

SEH 株式会社
セハージャパン

	米飯加工機械		店舗システム	衛生資材
	大型機（構成比 7.0%）	小型機（構成比 93.0%）		
製 品	 飯盛容器供給ライン	   小型シャリ玉ロボット 海苔巻きロボット 盛付けロボット	  セルフオーダーシステム セルフレジ   AI画像認識システム Visレジ 自動配席AIシステム ARESEA	 除菌用アルコール
顧 客	 食品工場 コンビニベンダー・給食ベンダー	   飲食・小売店舗（キッチン） 回転寿司 スーパー 牛丼チェーン	 飲食店舗（ホール）	飲食・小売店舗

SUZUMOグループの主要顧客

【寿司】

5大100円回転寿司



【スーパーマーケット】

総合・食品
スーパーマーケット



【米飯ファーストフード】

3大牛丼チェーン
カレー・天丼チェーン



SUZUMO

【レストラン】

ファミリーレストラン
定食屋・焼肉・しゃぶしゃぶ



【工場】

コンビニベンダー
セントラルキッチン



【海外】

寿司レストラン
スーパーマーケット・カフェテリア



SUZUMOが目指すもの

存在意義・使命
- Mission -

豊かで、多様な、
食生活を楽しむことが
できる社会を実現する

目指す未来
- 長期Vision -

食の「おいしい」や「温かい」を
世界の人々へ

創業から大切に
している提供価値
- Value -

食の価値を
きかいでつなぐ

創業者の経営ビジョン「米飯主食文化を世界へ」のDNAを継承・発展させる。

- ・ 寿司の大衆化を通じて、事業者だけではなく、個人の食生活の豊かさに貢献してきた。
- ・ 様々な事業者と連携して、日本的米飯加工食のおいしさを世界へ拡大してきた。

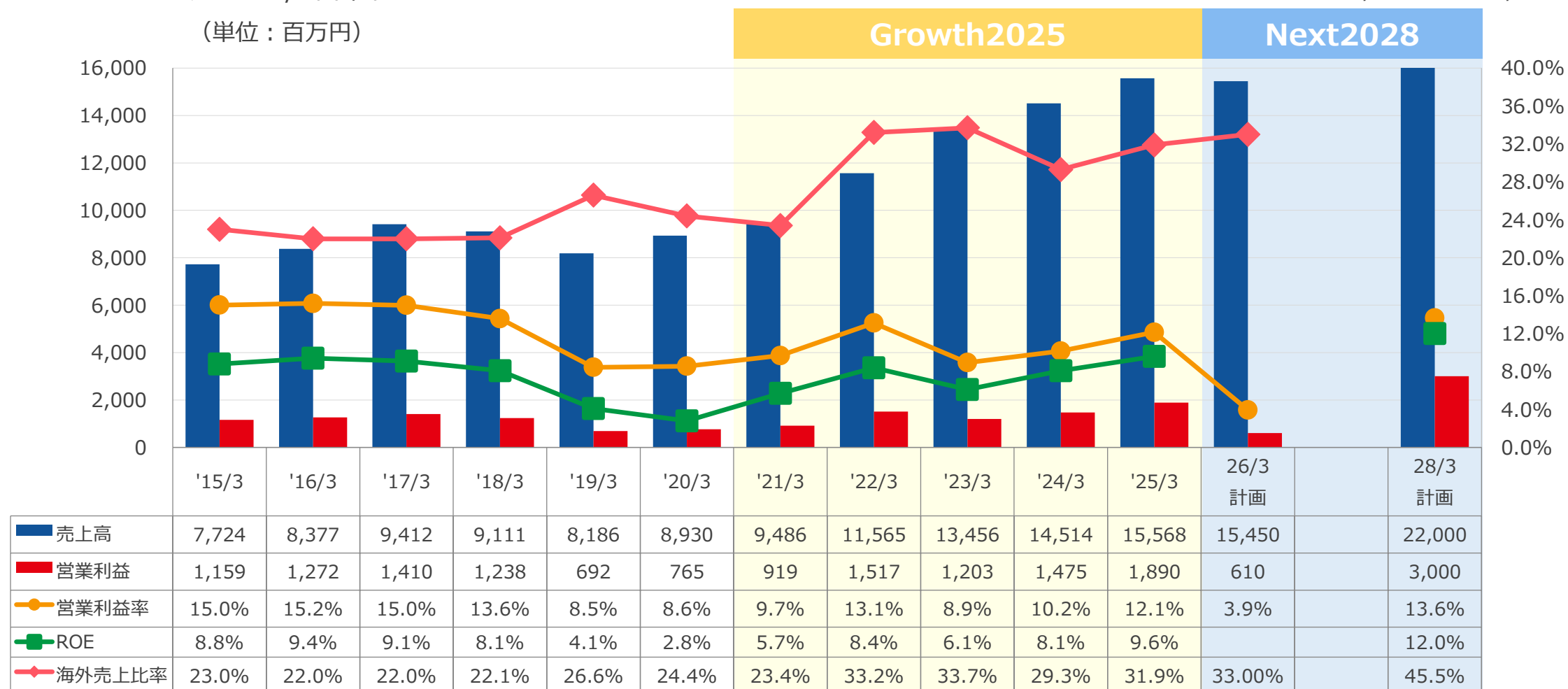
業績と今後の展望

【業績推移】売上高・営業利益の推移

売上高 / 営業利益

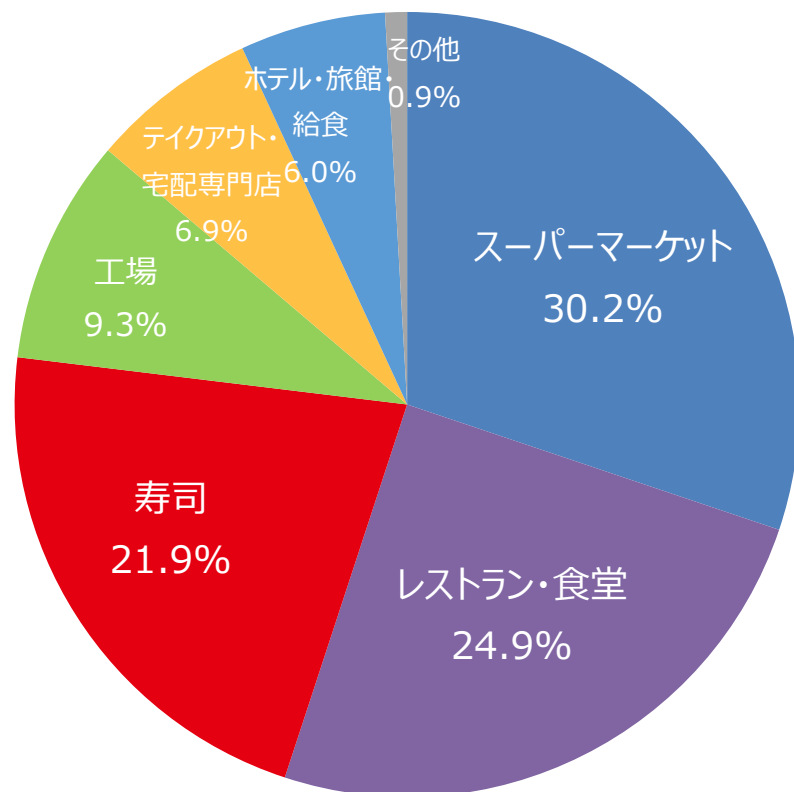
(単位：百万円)

海外売上比率 / 営業利益率 / ROE



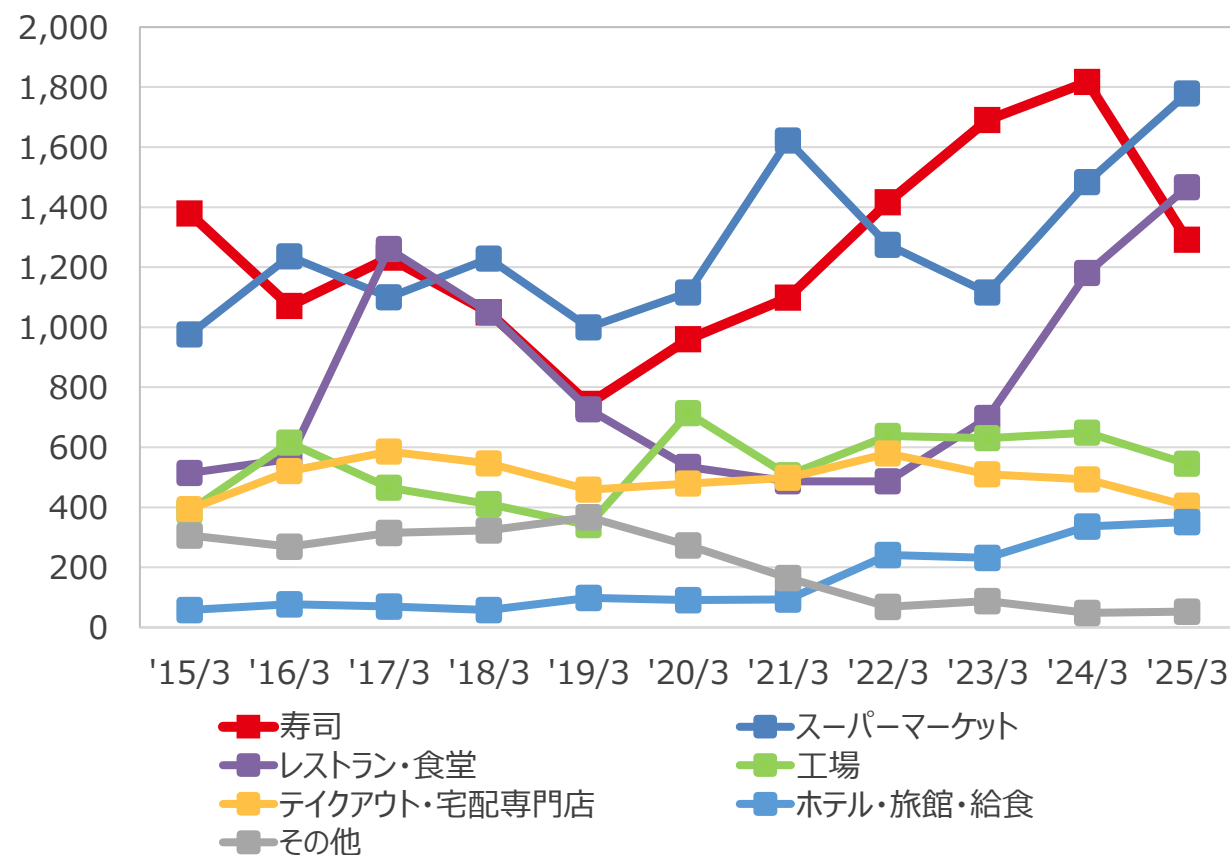
【業績推移】国内 業態別自社機売上高

■ 国内 業態別売上高比率
(2025年3月期)



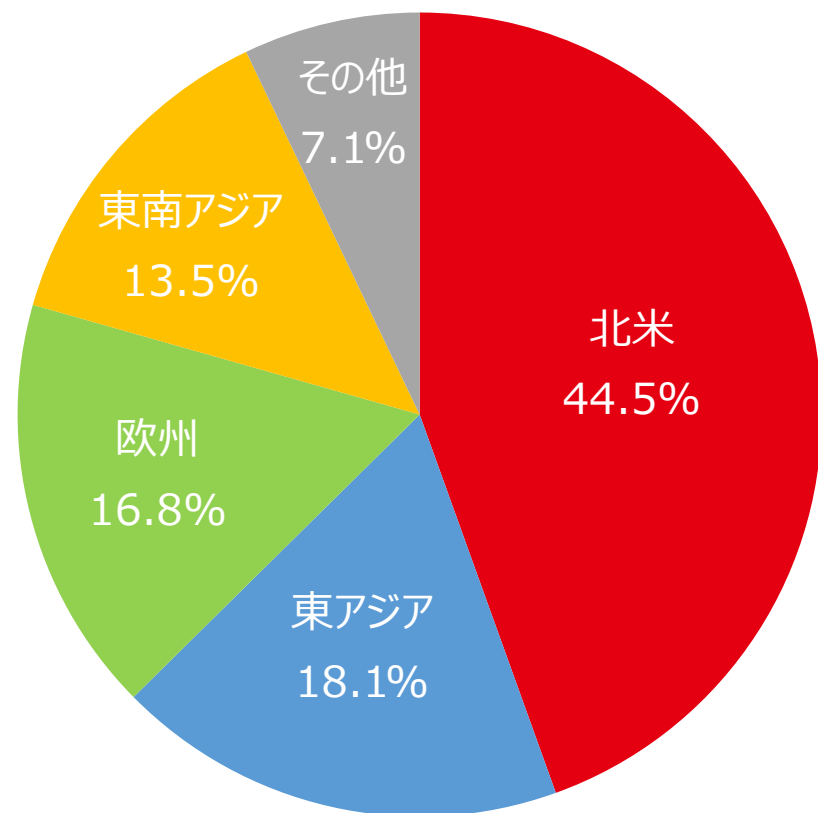
※ 業態別売上高比率は国内自社機売上高に基づき算出

■ 国内 業態別売上高推移



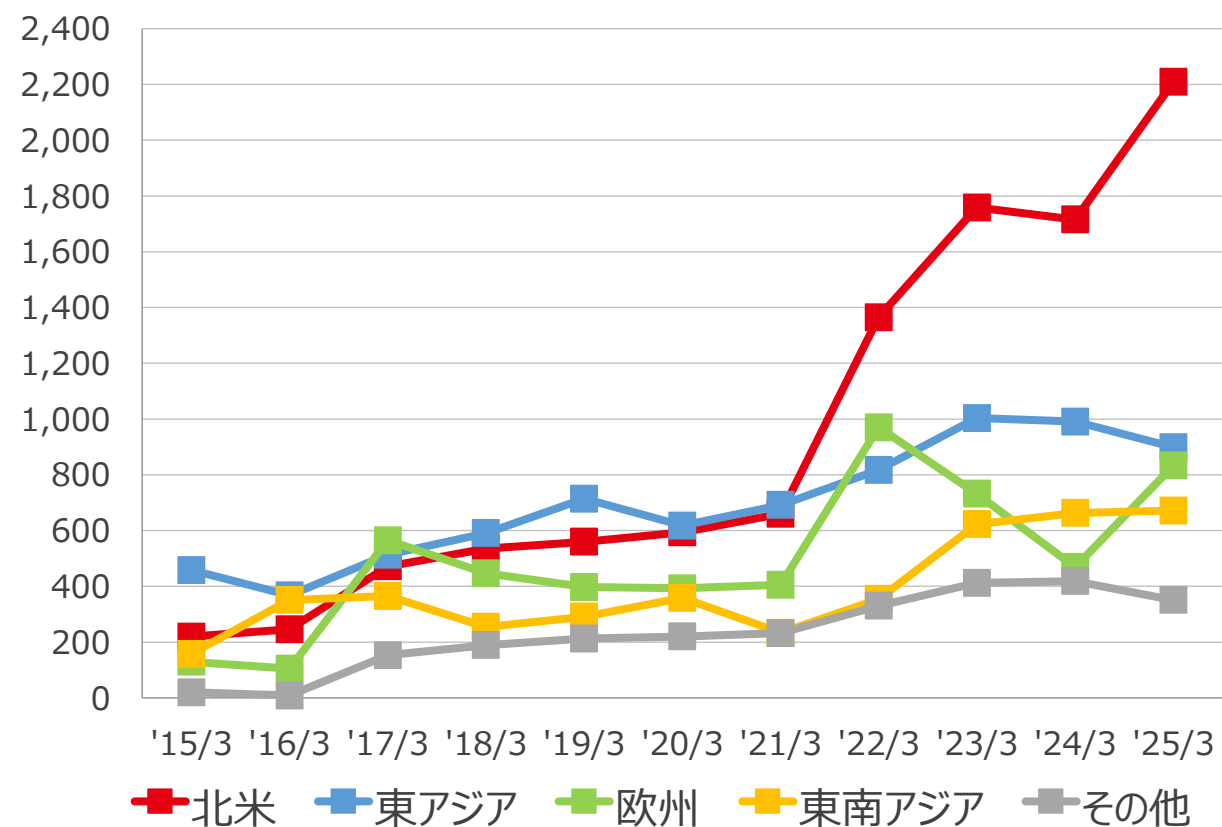
【業績推移】海外 地域別売上高

■ 海外 地域別売上高比率
(2025年3月期)



■ 海外 地域別売上高推移

(単位：百万円)



【足元の状況】 2026年3月期 第2四半期連結決算：業績サマリー

売上高
7,007百万円

△**11.0**%

国内 **4,697**百万円 △**9.9**%

海外 **2,310**百万円 △**13.3**%

営業利益

79百万円

△**92.4**%

■ 前期比増減率

営業利益率

1.1%

△**12.2**pp

■ 売上高

- 国内は2Qに入り大手ホテルチェーン店へのFuwaricaの新規導入が本格化する等、新規開拓は進捗しているものの、前期4Qから続くコメ価格高騰の事業者への影響や、大手チェーン店の入替需要の一巡等により減収
- 海外は北米における連結内部消去の影響や、大手チェーンへの納品計画の後ろ倒しにより減収

■ 営業利益/営業利益率

- 売上高の減少に加え、中期経営計画「Next 2028」で掲げた事業基盤構築に伴う人員増強、人事制度の改定等による人的投資を中心とした先行投資、資本業務提携解消に伴う想定外のコストが発生したことで販管費が増加し、大きく減少

【中計Next2028】事業戦略：海外 重点取り組み

グローバル大手スーパー
マーケット・外食への拡販



販売店体制の強化・見直し



海外進出を志向する
日系企業のサポートの強化



海外ブランディング



海外事業基盤の見直し・強化

海外事業組織体制の強化

国内事業ノウハウ・リソースの活用

海外バリューチェーンの強化

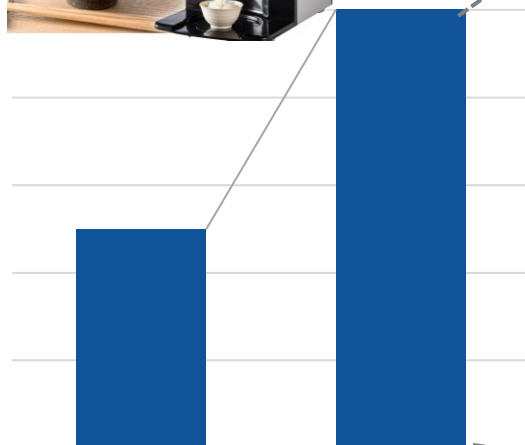
【中計Next2028】事業戦略：海外 重点取り組み



【中計Next2028】事業戦略：国内 ご飯盛付けロボット Fuwarica

ご飯盛付けロボット：Fuwaricaの市場は拡大

- ☑省人化の投資対効果のハードルが下がる
- ☑飲食店やホテル等のセルフサービスで導入が進む



2025年3月期

2028年3月期

新規市場

Fuwaricaの
対象マーケット

ご飯を扱う事業者すべて

既存市場

牛丼チェーン店等
食品スーパーマーケットホテル・ラーメン・
社食・学食・病院等の
新たな業態の開拓

顧客の裾野拡大

入れ替え・
新規出店の需要

【中計Next2028】事業戦略：国内 ご飯盛付けロボット Fuwarica

ご飯盛付けロボット：Fuwaricaの導入事例



外食：カレーショップC&Cダイニング様



社員食堂：エイベックス様

【中計Next2028】事業戦略：国内 ソリューション販売

顧客の事業課題解決を推進 米飯加工機械以外の提案製品やサービスラインナップを拡大

● 米飯加工機械

上流（洗米・炊飯）から下流（加工）まで

自社製品



他社製品



● 食品機械・自動化機械

米飯加工機械以外の自動化機械

自社開発



他社製品



● 店舗省人化システム

ホール（受付・オーダー・POS）からキッチンまで

自社開発



共同開発



● 資材品

衛生・包装資材等の消耗品など

自社製品



他社製品



イチ案件（顧客）当たりの
付加価値提供面積の拡大

【中計Next2028】事業戦略：国内 ソリューション販売

顧客の事業課題解決を推進 米飯加工機械以外の提案製品やサービスラインナップを拡大



【 AI画像認識システム Visレジ 】

AIにより、食器やトレーの食材内容を数秒で認識し、自動でPOSレジへ登録。経験の浅いスタッフでも迅速な会計業務を行うことができ最適な人員配置が可能に



【 自動配席AIシステム ARESEA 】

今まではベテランスタッフにまかせるしかなかった、お客様の人数に合わせた最適なテーブル配席をAIを組み込むことでシステム化・省人化を実現

【中計Next2028】生産戦略

新生産方式の導入と新工場建設により生産能力の向上と生産性を改善

新生産方式

セル生産方式
×
製番方式

ライン生産方式
×
MRP方式

新工場においては、生産方式は現在のセル生産からライン生産に変更し、生産性の改善に伴う原価低減に取り組む

新工場建設 鶴ヶ島 テックプラント

- 生産キャパシティは現工場の2倍以上を目指す
- 主力の小型機をメインに生産し、量産体制を構築
- 現工場は主力以外の小型機および大型機を主に生産
- 今後の需要動向および財務状況を鑑み、次期建設を検討

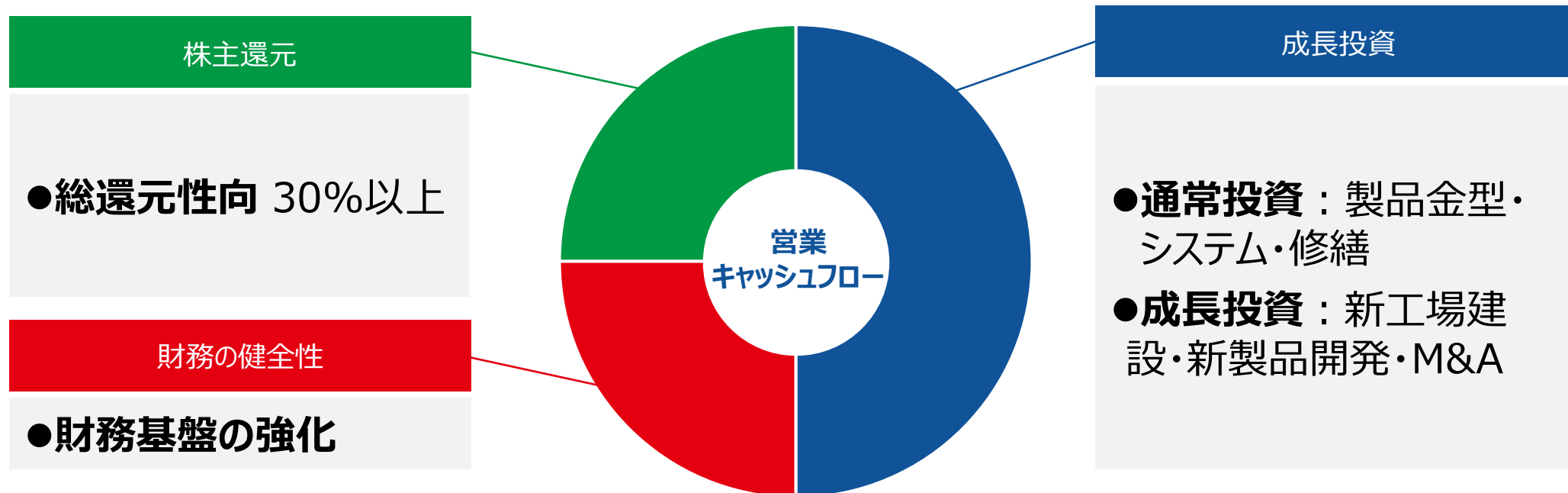
所在地	埼玉県鶴ヶ島市（圏央鶴ヶ島インターチェンジ横）
面積	敷地面積 36,137m ² ・延床面積 8,237m ² （地上2階）
投資予定額	約27億円（建物）※投資予算内、自己資金で完成
操業時期	2026年3月（計画通りに操業予定）※着工 2024年11月、竣工 2025年10月



【中計Next2028】資本・財務戦略

資本効率の向上と事業成長に向けた適切な事業投資の実行

1. 将来の事業成長及び生産性向上への投資を実行
2. 増配及び総還元性向30%以上の実行





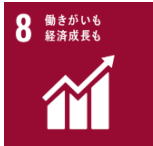



【中計Next2028】サステナビリティ

SUZUMOグループのサステナビリティ

世界中の人々が、豊かで、多様な、食生活を楽しむことができる社会を実現するために、
食の世界を支える事業者と連携して、生産者や事業者の持続的成長に貢献する。

下記のテーマについて、具体的な取り組みの検討を進める。

テーマ	活動項目	活動内容	関連するSDGs目標
メーカーとしての 取り組み 	技術力の追求 食の安全への配慮	市場ニーズに適合する製品の開発	 
		ユニバーサルデザインの追求	
		食の安全に配慮した製品の開発	
食に携わる企業 としての取り組み 	日本食の文化継承 フードロス課題の解決	おいしい米飯商品の拡大	 
		国内外の食事業者の事業拡大の支援	
		事業者・消費者の廃棄量の削減	

【中計Next2028】サステナビリティ

SUZUMOグループの新しい取り組み



【 寿司ロボットのカプセルトイ発売 】
～SUZUMOブランドのファン創出と認知拡大～

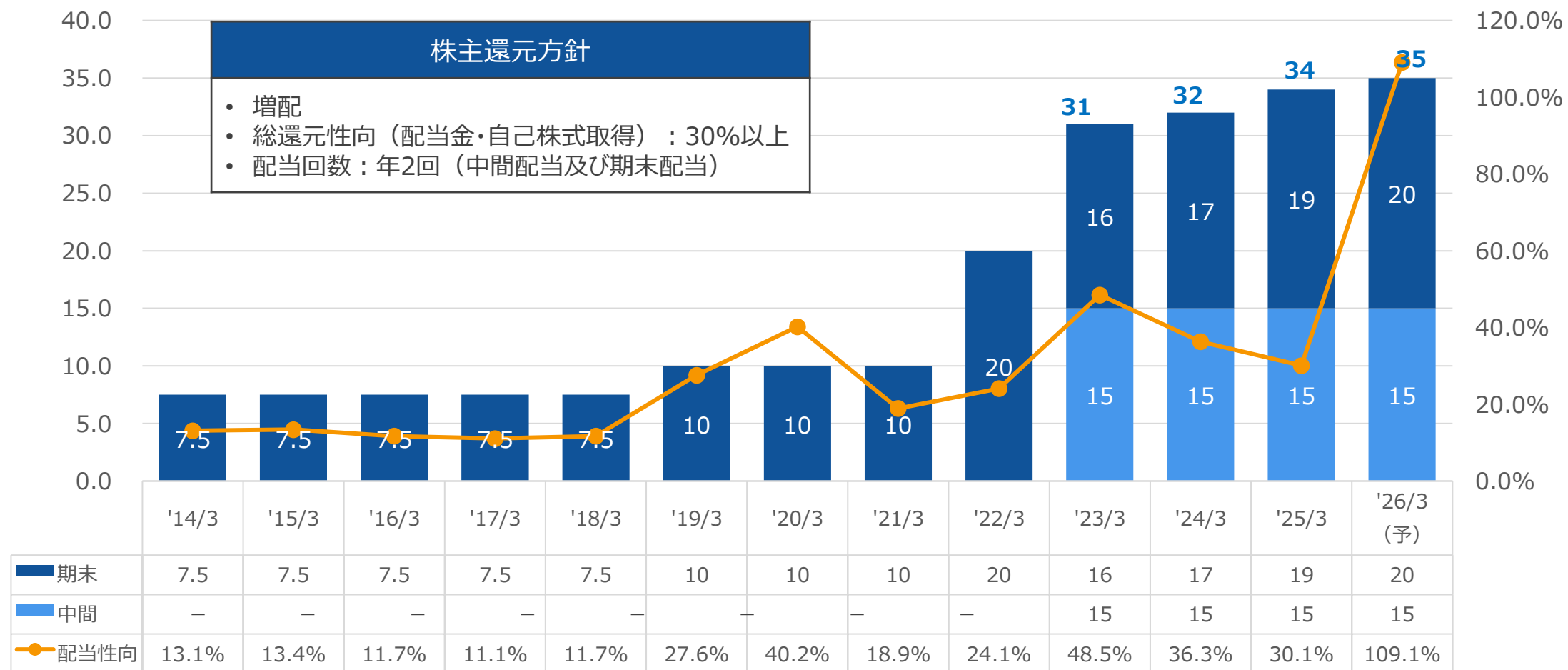


【 市立保育所で完全給食の実現 】
～埼玉県鶴ヶ島市取り組む地域貢献事業～
※ 画像は鶴ヶ島市提供

株主還元

株主還元：1株当たり配当金・配当性向の推移

(単位：円)



株主還元：株主優待

保有株式数 (基準日時点)	優待内容
100株以上～300株未満	ジェフグルメカード 500円分
300株以上～500株未満	ジェフグルメカード 1,500円分
500株以上～1,000株未満	ジェフグルメカード 2,500円分
1,000株以上～5,000株未満	ジェフグルメカード 5,000円分
5,000株以上	ジェフグルメカード 10,000円分



毎年3月末日現在の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上の当社株式を保有されている株主を対象に保有株式数に応じて、「全国共通お食事券ジェフグルメカード」を進呈いたします。

「全国共通お食事券ジェフグルメカード」は、全国35,000店舗の加盟飲食店で利用できるお食事券です。株主の皆様におかれましては、飲食店・テイクアウト・デリバリーでのお食事を楽しんでいただくことを通じて、外食産業を応援いただければと思います。

（発送時期：毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定）



IR・取材等のお問い合わせ先

鈴茂器工株式会社 経営企画部

TEL 03-3993-1396 | **Email** ir-info@suzumo.co.jp

本資料の業績計画ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため諸要因の変化により実際の業績は大きく異なる可能性があります。